

2019年8月22日

## SR 埼玉高速鉄道ニュース



「たまさぶろう」

浦和美園「初」公道での自動運転バス実証実験！

2019年9月2日（月）～9月6日（金）

今年度も将来に向かって自動運転実証実験を実施します

埼玉高速鉄道株式会社（さいたま市 代表取締役社長：荻野 洋）は、（一社）美園タウンマネジメント（さいたま市 代表理事：西 宏章）・国立大学法人群馬大学（前橋市 大学長：平塚 浩士）・イオンリテール株式会社（千葉市 代表取締役社長：井出 武美）・国際興業株式会社（東京都中央区 代表取締役社長：南 正人）・日本信号株式会社（東京都千代田区 代表取締役社長：塚本 英彦）とともに、さいたま市浦和美園エリアのまちの更なる発展に寄与するために、昨年度の「浦和美園歩行者専用道路」自動運転実証実験に続き、本年度は「公道」における自動運転実証実験を実施することといたしました。

今回も群馬大学の自動運転技術を用いるとともに、パーソナルモビリティのシームレスな移動の確認、インフラと車両との連携技術の確認や、バス乗務員による自動運転技術の検証等も行います。

浦和美園エリアは医療・福祉施設の開設が予定されております。また埼玉スタジアム2002やイオンモール浦和美園などの拠点施設が点在しています。



自動運転バス実証実験車両

このエリアで本年3月に日本初の電動キックボードのシェアサービス「WIND」を導入するなど、新たな移動手段導入について積極的に挑戦しております。

今回の自動運転実証実験も、このまちの将来を大きく発展させるものとなり、地域の皆さまに「先進的で快適な暮らし」をお届けできる取り組みであると考えています。

**実証実験の詳細内容等につきましては、別紙資料をご確認ください。**

以上

この記者発表資料は、下記の記者クラブにお届けしています。

○ときわクラブ ○埼玉県政記者クラブ ○さいたま市政記者クラブ ○川口記者クラブ